

平成20年3月期中間決算参考資料

1. 連結業績の推移

連結業績

(単位:百万円)

	平成19年3月期 中間実績	平成20年3月期 中間実績	前同比	平成20年3月期 通期予算
売上高	2,857	2,818	1.4%	5,463
売上総利益	1,323	1,390	5.1%	2,702
(売上総利益率)	(46.3%)	(49.3%)	-	(49.5%)
(販売管理費率)	(33.4%)	(35.2%)	-	(37.8%)
営業利益	368	397	7.9%	639
(営業利益率)	(12.9%)	(14.1%)	-	(11.7%)
経常利益	406	400	1.5%	628
当期純利益	242	240	0.8%	377

地域別売上高 連結

(単位:百万円)

	平成19年3月期 中間実績	平成20年3月期 中間実績	前同比	平成20年3月期 通期予算
国内	1,732	1,557	10.1%	2,988
北米	679	696	2.5%	1,286
アジア・オセアニア	285	380	33.2%	817
欧州	159	184	15.5%	371
計	2,857	2,818	1.4%	5,463

(注)上記区分に属する主な国 ・北米:アメリカ、カナダ

・アジア・オセアニア:台湾、香港、オーストラリア

・欧州:イギリス

研究開発費・設備投資

(単位:百万円)

	平成19年3月期 中間実績	平成20年3月期 中間実績	前同比	平成20年3月期 通期予算
研究開発費	242	244	0.8%	539
設備投資額	81	44	45.4%	375
減価償却実施額	61	67	8.5%	191

その他

	平成19年3月期 中間実績	平成20年3月期 中間実績	前同比	平成20年3月期 通期予算
為替レート(1US\$)	115.36円(平均)	119.33円(平均)	-	107.00円(期末)
為替レート(1£)	213.46円(平均)	239.00円(平均)	-	221.00円(期末)
従業員数(期末)	155名	167名	7.7%	-
臨時従業員数(平均)	107名	108名	0.9%	-

2. 連結業績の概要

前年同期比で売上高が1.4%減収、営業利益で7.9%増益、経常利益で1.5%減益、中間純利益で0.8%減益となりました。詳細につきましては決算短信資料を合わせてご参照ください。

売上高について

前年同期比1.4%の減収。

その大きな要因として、国内におけるカー用品市場の低迷と合わせて、当社主力製品のワゴン系が低調に推移したことにより10.1%の減収と大きな影響を受けました。他方海外向け販売のうち、北米においては中間期末に向けてのサブプライム問題の顕在化の影響と考えられる消費需要の低下傾向が見られましたものの、新規ディーラーの獲得などが奏功し、当中間期では2.5%の増収となりました。また、アジア・オセアニア地域では、前期に引き続き現地サービスセンターの設置や現地生産車向け専用製品の開発に注力し、33.2%の大幅な増収となりました。英国ではブランド浸透施策の効果が現れ始め、15.5%の増収となりました。

海外が比較的好調であったのに対して、国内における販売の低迷がグループ全体の業績に影響し、当中間連結会計期間では1.4%の減収となりました。

売上総利益率について

前年同期比3ポイントの増加。

工場操業度の改善による原価低減と、比較的に利益率の高い製品の販売構成比が増加したことによるものであります。

営業利益率について

前年同期比1.2ポイントの増加。

その主な要因は、売上総利益率の改善によるものであります。

為替の影響

当中間期は、円高ドル安により為替差損7百万円を営業外費用に計上しております。

【注意事項】

本資料は発表済の決算内容や業績予想について説明するものであり、今後の業績については様々な要因により予想と異なる可能性があります。

お問合せ先：

株式会社ティン 管理課（IR担当）

TEL 045(810)5511